

団体・活動紹介

現在、フラソング「ケ・アロハ」やクリスマスソング「きよしこの夜」を日本語、英語、ハワイ語で歌いながらウクレレを弾いています。また来年度の文化祭に向けて「糸」を歌いながら演奏できるようにレッスンを始めました。



ウクレレ演奏に興味のある人はどうぞ気軽に見学にきてください。その際にはウクレレをお貸しします。

問合せ先/杉山 むつ美(090-2340-0437)

ウクレレ教室 アロハイヴィイ

杉山 むつ美

ウクレレは初心者でも演奏しやすく、優しい音色で南国ムードあふれる魅力的な楽器です。グループ名のイイヴィイとはハワイ固有種のミツスイ野鳥のことです。

指導はウクレレ奏者でボーカリストの谷川智子先生で、ストレッチとボイストレーニングを行った後、ウクレレ・レッスンに入ります。

レッスンはふれあいセンターで毎月1回(第2木曜日または第4木曜日)14時~16時の2時間行っています。

ウクレレ演奏に興味のある人はどうぞ気軽に見学にきてください。その際にはウクレレをお貸しします。



函南町ミニテニス大会

問合せ先/生涯学習課 (979-1733)

函南町スポーツ推進委員会では、日頃の運動不足を楽しく解消していただくようレクリエーションを目的としたミニテニス大会を開催します。参加無料。どなたでも参加いただけます。この機会にニュースポーツを体験して下さい。



ミニテニスとは…テニスと卓球が合成されたもので限りなくテニスに近い競技です。

テニスより短いラケットを使用し、直径約12cmのビニール製のボールを打ち合います。コートはバドミントンコートです。

試合はダブルス制で、すべてワンバウンドしたボールを相手のコートに打ち返すことを基本としています。

○日時

令和2年2月16日(日)9時~(受付:8時30分~)

○場所

函南町体育館

○申込み

令和2年1月10日(金)17時15分までに生涯学習課へお申し込みください。申込用紙は、文化センター窓口にあります。

○その他

競技方法は当日説明します。1チーム2人、性別、年齢、経験は問いません。当日は体育館シューズ、タオル、飲み物を持参し、運動のできる服装でご参加ください。



令和2年度町内体育施設利用認定団体登録団体の説明会

問合せ先/生涯学習課 (979-1733)

学校体育施設の利用や町内の体育施設の抽選会(※)に参加するには、利用団体としての認定・登録が必要です。希望する団体は申請書を提出し、説明会に出席してください。

※抽選会…登録された団体による体育施設使用日の調整会

○認定団体

対象/町内に在住または在勤者で構成されている団体(未成年者のみの団体は対象外)で定期的に活動していて用具がそろっている。また、競技ができる人数を満たしている。

使用可能施設/町内全ての体育施設

○登録団体

対象/6割以上が町内に在住または在勤者で構成されている団体(未成年者のみの団体は対象外)で定期的に活動していて用具がそろっている。また、競技ができる人数を満たしている。

使用可能施設/学校体育施設以外の町内体育施設

○説明会

日時/令和2年2月4日(火)19時~

場所/文化センター 多目的ホール

※各団体必ず1人以上出席してください。説明会に欠席した場合は、認定・登録はできませんのでご注意ください。

○認定・登録期間

令和2年4月1日~令和3年3月31日

○申込み

令和2年1月17日(金)までに必要書類に記入のうえ、生涯学習課へお申し込みください。書類は文化センター窓口にあります。

○その他

認定・登録をしなくても、函南町体育館、肥田簡易グラウンド、かなみスポーツ公園、柏谷公園は使用できます。文化センター窓口で使用希望月2カ月前の21日から予約することができます(かなみスポーツ公園は管理棟窓口でも予約可)。

文芸散歩

狩野川台風並み

長末 恭輔

「狩野川台風並みの台風が上陸する可能性がある」との報道を受けて、家の周りの片づけや側溝の掃除を行い畑の作物の支えを補強した。朝から雨戸を閉めて暴風雨に備えた。

台風が近づくとつれて風雨が強まり、周りの木々を大きくゆすつた。伊豆半島上陸かと報道された途端、暴風雨はびたりと止んだ。台風の目の中に入ったのだろう、吹き返しを警戒しなくてはと身構えたが、その時を境に再び強風が吹くことはなかった。雨戸を一枚だけ開けて寝た窓の外には、星空が広がりにオリオン座が大きく輝いていた。

学生のころの学期末休み、山に登る途中に携帯ラジオは狩野川が氾濫し、大きな被害が出たことを大々的に伝えていたのを思い出す。狩野川がどこにあるかも知らず、4年後に就職した会社の近くにその狩野川が流れていた。

今回、狩野川台風をしのぐ雨量でも放水路が機能して狩野川の氾濫は避けられた。一方、堤防の外では内水氾濫で家屋への浸水や農作物の冠水、崖崩れなどの大きな被害が出た。気象変動による未曾有の豪雨と水害に対し、防災施策の見直し強化が望まれる。